

**令和6年度  
流域治水・減災対策に係る  
各機関の取組事例**

# 釧路市防災総合訓練、釧路市職員避難所開設・運営訓練の実施

## (釧路市の取組事例)

- ◆大規模な地震による被害の発生と津波の襲来を想定した各種訓練等を、関係機関の連携強化と市民の防災意識の高揚を図ることを目的として、防災総合訓練を実施した。
- ◆新着任職員等に対し、避難所開設・運営方法の理解を深めてもらい、職員の防災意識向上を目的として、避難所開設・運営訓練を実施した。

### 釧路市防災総合訓練

- ・令和6年9月26日(木) 13時00分～16時00分
- ・協力・実施機関等 51機関 約800名
- ・道路啓開訓練、インフラ復旧訓練、市民初期消火訓練、緊急患者輸送訓練 等



道路啓開訓練



インフラ復旧訓練



市民初期消火訓練



現地救護所開設訓練

### 釧路市職員避難所開設・運営訓練

- ・令和6年8月22日(木) 12時45分～15時30分
- ・訓練参加者 約30名(避難所開設班の新着任職員を対象)
- ・受付・誘導訓練(車輜避難者や発熱・体調不良者対応含む)、搬入資機材(段ボールベッド・簡易トイレ)組立及び設置訓練 等



避難所受付・誘導訓練



避難所開設キット訓練



感染症対策対応訓練



市職員  
トイレ組立及び設置訓練

(標茶町の取組事例)

- ◆ 1日防災学校～小学校での1日防災学校を実施
- ◆ 河川防災学習～小学校での1日防災学校を実施

## 1日防災学校

- ・ 沼幌小学校にて1日防災学校を実施。防災クロスワード、パーテーション設置体験を行い、防災力の向上を図りました。



## 河川防災学習

- ・ 標茶小学校にて河川防災学習を実施。「マイタイムラインを作ろう」をグループ学習で行い、問題点を話し合い、防災力の向上を図りました。

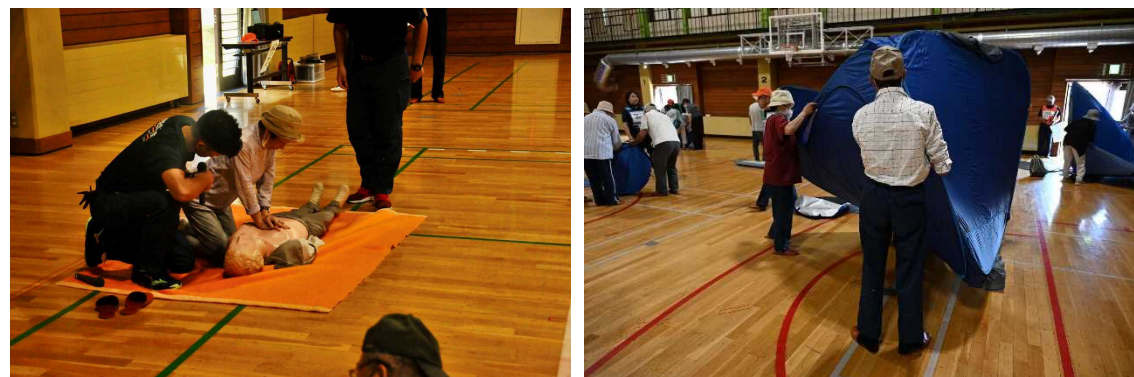


## (標茶町の取組事例)

- ◆ 令和6年9月1日に標茶町総合防災訓練を実施。
- ◆ オンラインでの情報共有、避難所での設営訓練などを実施する。

災害対策本部では新たな取組みとして、オンラインで関係部署と情報共有し、併せて避難所、現場活動のライブ配信を画面上で確認しました。

避難所設営訓練では住民の方に室内テントの組立て、心肺蘇生訓練が実施されました。



過去に発生した水害現場で土嚢積み訓練を実施しました。



(釧路町の取組事例)

## ◆大規模災害への備え①：釧路町総合防災訓練

### ■釧路町総合防災訓練

大型の台風が接近し、道路・河川等に被害が発生した想定で、関係機関と遠矢地区の地域住民による避難訓練及び防災関係機関による救出救護訓練、展示訓練を実施した。

【開催日】令和6年8月4日(日)

【参加者】406人

【会場】遠矢小学校

【参加機関】24機関



(避難訓練受付の様子)



(自衛隊・消防による救出救護訓練の様子)



(関係機関による展示の様子)



(福祉避難所開設訓練の様子)

(釧路町の取組事例)

## ◆大規模災害への備え②：地域避難訓練

日本海溝・千島海溝沿い巨大地震に伴う巨大津波が発生した場合に備え、中央地区・昆布森地区で避難訓練を実施した。

### ■中央地区避難訓練

【開催日】令和6年 6月22日(土)

【会場】避難場所2カ所

【参加者】83人

### ■昆布森地区避難訓練

【開催日】令和6年11月18日(月)

【会場】避難場所14カ所

【参加者】74人

中央地区避難訓練の様子



(蹴破り戸の鍵解除の様子)

昆布森地区避難訓練の様子



(道道又飯時パーキング)

(釧路町の取組事例)

## ◆大規模災害への備え③：北海道・三陸沖後発地震注意情報対応訓練

後発地震注意情報が発表された後、住民・企業・団体等からの想定し得る問い合わせについて、電話による対応訓練を行い、災害対応力の強化を図った。

【実施日】令和6年10月7日(月)

【実施場所】釧路町役場

【参加機関】釧路地方気象台、釧路総合振興局、釧路町

【参加者】12人



## (釧路町の取組事例)

### ◆地域共助体制の整備促進：くしろ町わが町防災マルシェ2024

防災運動会やトイレの専門家による講演会、ワークショップを実施するなどを官民協働で開催し、住民の防災意識の高揚に努めた。

【開催日】令和6年10月5日(土)～6日(日)

【会場】釧路町公民館

【参加者】延べ930人

防災運動会の様子



専門家による講演会の様子



ママなびフェスタwith防災2024の様子



# 避難訓練、防災研修会等の実施

(厚岸町の取組事例)

- ◆ 大規模災害の発生を想定し、地域住民の防災意識の向上と、町及び関係機関の防災体制の実効性を検証するため、厚岸町避難訓練を実施した。
- ◆ 防災に関する知識を学び、防災意識の向上を目的として、各自治会や学校を対象とした防災研修会等を実施した。

## 厚岸町避難訓練

- ・ 令和6年8月4日（日）
- ・ 参加者数 405人
- ・ 避難訓練、JR避難階段使用訓練、災害対策本部設置・運営訓練 等



厚岸町避難訓練の様子

## 防災研修会・防災授業

- ・ 町内の各自治会、各学校において、ハザードマップや防災資機材を用い、災害時の避難行動や避難場所等に関する知識を学ぶ防災研修会、防災授業を行った。



防災研修会・防災授業の様子

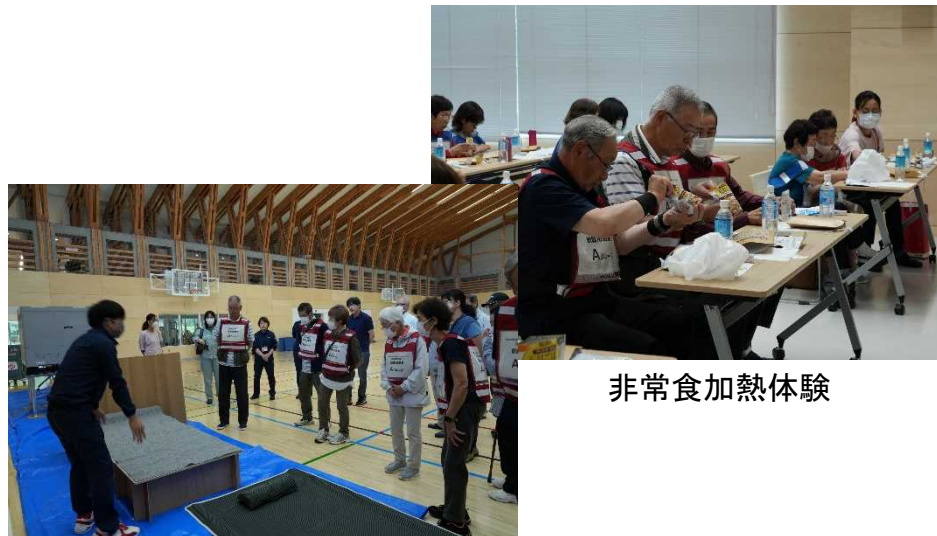
# 村防災訓練の実施、村立学校における防災教室

(鶴居村の取組事例)

- ◆ 釧路沖を震源とするマグニチュード8を超える巨大地震を想定した北海道防災総合訓練と併せて釧路市から広域避難を受けれる想定の実施した。
- ◆ 災害時における基本的な行動を理解するとともに、防災意識を高めることを目的として、中学生を対象とした防災教室に講師として参加した。

## 村防災訓練（北海道防災総合訓練）

- ・ 令和6年8月4日(日)
- ・ 鶴居村住民14名、釧路市住民18名  
その他関係機関員 22名
- ・ 避難所開設、避難所・備蓄品紹介、非常食試食、段ボールベッド組立訓練他



非常食加熱体験

備蓄品の紹介

## 鶴居中学校「1日防災学校」

- ・ 令和6年6月18日(火)
- ・ 鶴居中学校 生徒13名
- ・ 防災備蓄食料を活用した防災食調理体験、避難所設営等訓練、防災クイズ



ダンボールベッド  
組立訓練

備蓄用ようかんを活用した  
蒸しパンづくり体験

## 弟子屈町の取組みと防災教育

### ◎弟子屈町の取組み

- ・釧路川整備計画により造成された「ふれあい広場」は町民の散歩コースとして利用され、7月には園児たちが『ヤマメの稚魚を放流』、『夏まつり』では学生たちの演奏や玉入れ大会が行われ、広場内には露店が立並び町民に利用されています。

### ◎防災啓発の取組み

- ・防災講話の実施（自治会や女性部等）
- ・小学校への出前授業  
(災害時の避難行動や段ボールベッドの組立など避難所に関する知識を学び、防災力の向上を図った。)
- ・防災備蓄庫で防災授業  
(町内で起こった災害について学び、避難所設営の訓練を実施した。)



# 北海道防災総合訓練に合わせ町の総合防災訓練の実施

①町内・広域避難者を想定した避難所受付



②広域避難者の到着



③広域避難者の受入



④要支援者の受入



⑩地元企業による炊出し



- ・大規模災害時における、町民と広域避難者の同時受入れ、要支援者の受入れと福祉避難所入所への流れ
- ・災害ボランティア（社会福祉協議会や女性消防団員等）と協力した避難所運営訓練。
- ・支援物資の受領・搬入と仕分け作業の確認。

⑤支援物資の到着



⑨防災ベッドの組立



⑧災害用トイレの説明



⑦支援物資の仕分



⑥支援物資の搬入



## (白糠町の取組事例)

- ◆ 本別町との包括交流連携協定に規定する「災害対策・支援」に基づく目標達成のため、発災時の受援、支援体制等連携、行動確認の合同訓練を実施した。
- ◆ 中学1年生を対象とした防災施設見学・体験や、1泊2日の防災宿泊学習を含む防災教育を実施した。

### 白糠町・本別町包括交流連携協定災害応急合同訓練

- ・ 令和6年8月21日、白糠町より本別町の避難所へ物資を提供する想定で、白糠町・本別町の職員など25名により実施。
- ・ 白糠町の職員を要支援者に見立て、実際に本別町までの移送や、要支援者を引継ぐ際にプッシュ型支援物資の引渡しなども行った。

### 中学生を対象とした複数日程による防災教育

- ・ 令和6年9月に施設見学、11月に宿泊防災学習を実施し、中学1年生、町内会など延べ45人が参加
- ・ 避難所運営ゲーム(HUG)・避難所設営訓練及び、町内各災害時排水ポンプ場・避難場所等の施設見学を実施



白糠町・本別町包括交流連携協定災害応急合同訓練の様子



施設見学の様子

宿泊学習の様子

## (浜中町の実施事例)

- ◆ 災害対応力の強化を図ることを目的として、災害対策にあたる防災機関と共同で日本海溝・千島海溝沿い巨大地震・大津波の発生を想定した防災総合訓練を実施した。

実施日：令和6年11月1日(金)

実施場所：浜中町役場庁舎周辺及び防災広場

参加機関：釧路開発建設部、釧路地方气象台、陸上自衛隊、釧路海上保安部、釧路総合振興局、厚岸警察署、浜中消防署、浜中消防団、浜中町社会福祉協議会、浜中町赤十字奉仕団、浜中町自治会連合会、北電根室ネットワークセンター、北海道コカ・コーラボトリング、株式会社日本無線

訓練内容：津波避難訓練、防災学習、負傷者等輸送訓練、炊き出し訓練、避難所設営訓練、防災イベント 等



避難訓練



防災学習



負傷者等輸送訓練



炊き出し訓練



避難所運営訓練



防災イベント

# 防災関係機関との連携、防災講演等の実施

## (警察の取組事例)

- ◆ 関係機関が主催する各種防災訓練に参加し、連携を確認しながら避難誘導を実施するなど、発災時に備えて円滑な避難誘導や救出救助技術の向上を図った。
- ◆ 釧路地方に転入した外国人技能実習生に対する防災講演を実施したほか、防災訓練等の参加者に防災啓発活動を実施し、住民の防災意識の高揚に努めた。

### 防災関係機関との連携、救出救助技術の向上

- ・ 釧路市内の小学校の避難訓練において、警察の役割や実施手順を確認し、円滑な避難誘導を実施した。
- ・ 出水期の河川氾濫等の水害に向けて、救助ボートを使用した救出救助訓練を実施した。



小学校の避難訓練(釧路署)



出水期に向けた救助訓練(弟子屈署)

### 防災講演や防災啓発活動等の実施

- ・ 釧路市居住の外国人技能実習生に対し、警察安全講話として「災害発生時の注意点」等について講演した。
- ・ 浜中町総合防災訓練で避難した園児に対して、防災に係る紙芝居を読み上げる防災啓発活動を実施した。



技能実習生への防災講話(釧路署)



浜中町防災訓練での防災啓発活動(厚岸署)

## (森林整備センターの取組事例)

◆ 釧路川水系流域  
流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施しています。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



次年度以降も引き続き計画的に除間伐等の森林整備を実施予定

## (北海道の取組事例)

- ◆ 洪水氾濫を未然に防ぐため、流下能力が不足している箇所において、掘削工・護岸工を実施し、流下能力の向上や河岸浸食の防止に努めた。
- ◆ 堤防天端の整備(越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす対策)を行っている。

### 河川改修及び河道内樹木や土砂の除去

- ・釧路川、別保川、阿寒川、春採川における河川改修の実施。
- ・河道内の樹木の伐採や土砂掘削の実施。

### 護岸工及び堤防天端の保護

- ・釧路川と別保川で護岸工や堤防天端の舗装工を実施した。

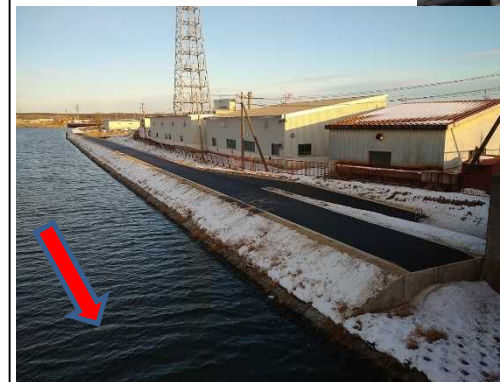


阿寒川における掘削状況



幌呂川における河道内樹木の伐採状況

釧路川の護岸工の状況



釧路川の堤防天端舗装の状況

## (北海道の取組事例)

- ◆令和元年度に北海道が管理している釧路建設管理部管内の河川に監視カメラを設置しているが、現地の水位状況を把握するため量水標を設置している。
- ◆量水標は令和6年度に釧路管内4箇所を設置済み。
- ◆量水標は認識性の高い大型タイプを採用し、水位危険度により色別としている。
- ◆国土交通省「川の防災情報」では、河川監視カメラによる水位状況をリアルタイムで確認出来る。



舌辛川(釧路市)に設置した量水標(令和5年度設置)



別保川(釧路町)に設置した量水標(令和5年度設置)

# 新たな水位周知河川指定へ向けた取組、ホットラインの拡充

(北海道の取組事例)

- ◆ 新たな水位周知河川指定に向け、水位設定の検討や洪水浸水想定区域図の作成業務を実施。
- ◆ ホットラインの拡充(電話による情報提供により、避難指示等、発令の判断を支援する仕組み)

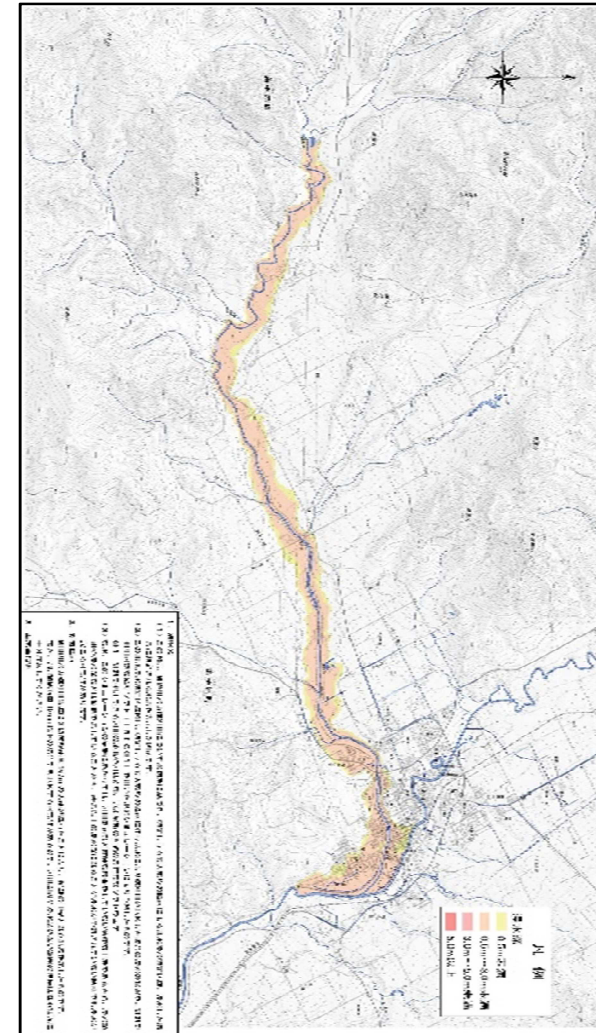
## 新たな水位周知河川指定に向けた取組

### ○ 鑑別川

- ・ 水位周知河川指定に向け、令和6年度に浸水想定区域図の作成、令和7年度に基準水位設定を行う。
- 関係機関との協議を行い、令和7年度末までに水位周知河川に指定予定。



鑑別川 水位周知河川予定箇所



鑑別川 浸水想定区域図 (iRIC等)

# 釧路市音別地区の防災訓練・気象防災ワークショップへの協力

## (釧路地方気象台の取組事例)

◆音別川洪水ハザードマップの完成を踏まえて令和6年7月30日に釧路市音別地区にて開催された「令和6年度 釧路市防災訓練（音別地区）」に協力し、「大雨と水害について」講演を行ったほか、中小河川洪水災害を対象とした気象防災ワークショップを実施した。

### 釧路市防災訓練（音別地区）講演

- ・釧路地方で大雨になりやすい気圧配置、防災気象情報とキキクル（危険度分布）の着目すべき点、警戒レベルと防災気象情報の関連性について、天気図や資料を用いて説明を行った。

### 気象防災ワークショップ

- ・音別町行政センター、消防、学校、医療機関の職員が参加。洪水災害の恐れがある想定で、発表される情報をもとに、どのような判断、何に対応すべきか班ごとに討議し発表。内容、着目点について解説を行った。

#### 道東の地勢と大雨

・台風や発達した低気圧が北海道付近を接近・通過すると、大雨や暴風となる。台風や低気圧が西側にあると、暖かく湿った南～南東の風が白糠丘陵や知床連峰に吹き付けて雨量が多くなることが多い。

道東の地勢

大雨となる代表的な気圧配置

#### 台風と前線～平成17年9月7日

釧路市阿寒 日降水量233ミリ  
(観測史上第1位)

日降水量 233.0

1. 支那海 237.0
2. 釧路 235.0
3. 阿寒 233.0
4. 知床 228.0
5. 森 219.0
6. 二 202.0
7. 空 185.0
8. 釧路 184.0
9. 釧路 184.0
10. 釧路 184.0

#### 【場面3】

【状況付与】 30日 14:30

- ・既に **10:16** に洪水警報（警戒レベル3相当）が発表されています。
- ・C川の水位が水防団待機水位に達しました。
- ・防災課では直ちに次の情報を確認しました。
- ・解析雨量・今後の雨（降水短時間予報）
- ・雨雲の動き（高解像度降水ナウキャスト）
- ・流域雨量指数の予測値
- ・洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）
- ・台風第10号進路予想図
- ・C川の水位（水位観測点W）
- ・雨量観測点X、Yでの雨量の推移

洪水キキクル 30日14:30

#### 【場面3】

【グループ発表】 場面3

グループで検討した結果を発表してください。

- ① 住民の避難に関して、いつの時点でどのような判断をすべきか？  
 そのように決めた理由も説明してください。  
 ・「警戒レベル3 高齢者等避難」や「警戒レベル4 避難指示」等を発令すべきか？  
 発令するならばいつ頃発令するか？対象区域は？ など
- ② 現在の状況において住民等に伝達すべきことは何か？  
 ・誰に対して、どのような方法で伝達するか？  
 ・伝達にあたって、どのようなことに注意すべきか？

3分以内で発表をお願いします。

#### 危険な場所を知っていますか？～ハザードマップの活用

想定最大規模：音別川で想定し得る最大規模の雨量 360mm/24hr (概ね1000年に1度の確率)  
計画規模：音別川で想定し得る計画規模の雨量 165mm/24hr (概ね30年に1度の確率)

釧路市HPより抜粋

#### 5段階の警戒レベルと防災気象情報

警戒レベルとは、5段階に整理した「住民が取るべき行動」と「行動を促す情報」とを関連付けるもの。  
警戒レベル相当情報とは、様々な防災気象情報のうち、避難情報等の発令判断に資する情報について、警戒レベルとの関連を明確化して伝えることにより、住民の主体的な行動を促すためのもの。

警戒レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報	気象庁等の情報
5	命の危険 直ちに安全確保！ （避難指示）	緊急避難警報 （避難指示）	大雨特別警報 （大雨特別警報）	大雪特別警報 （大雪特別警報）
4	危険な場所から全員避難 （避難指示）	避難指示 （避難指示）	大雨特別警報 （大雨特別警報）	大雪特別警報 （大雪特別警報）
3	危険な場所から高齢者等は避難 （避難指示）	避難指示 （避難指示）	大雨特別警報 （大雨特別警報）	大雪特別警報 （大雪特別警報）
2	10分程度避難行動要請 （避難指示）	避難指示 （避難指示）	大雨特別警報 （大雨特別警報）	大雪特別警報 （大雪特別警報）
1	避難準備・高齢者等避難開始 （避難指示）	避難指示 （避難指示）	大雨特別警報 （大雨特別警報）	大雪特別警報 （大雪特別警報）

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成



## (釧路開発建設部の取組事例)

### ◆ 釧路川弟子屈地区・標茶地区

氾濫による危険性が特に高い弟子屈・標茶市街地において、洪水を安全に流下させるために必要な河道掘削と堤防整備を実施しています。

#### 弟子屈地区

(釧路川右岸弟子屈町高栄地先・美里地先)

R6年度

河道掘削  $V = 4,300\text{m}^3$

護岸整備  $L = 340\text{m}$

#### 標茶地区

(釧路川右岸標茶町開運)

R6年度

堤防整備  $L = \text{約} 2,800\text{m}$  (堤外)



## (釧路開発建設部の取組事例)

- ◆令和6年5月に60m<sup>3</sup>/min級の排水ポンプ車を1台追加配置しました。
- ◆これにより、内水氾濫発生時等の排水能力が令和4年度時と比較して2倍となりました。
- ◆出水時、出動要請いただく場合は釧路開発建設部防災課または釧路河川事務所へご連絡願います。

機 械 名	配備状況
排水ポンプ車	30m <sup>3</sup> /min級
	30m <sup>3</sup> /min級
	60m <sup>3</sup> /min級(R5.6月 標茶町内に配置)
	60m <sup>3</sup> /min級(R6.5月 標茶町内に配置)
台数計(能力計)	4台(180m <sup>3</sup> /min級) ※R4年度時は3台(90m <sup>3</sup> /min級)



排水ポンプ車(60m<sup>3</sup>/min級)



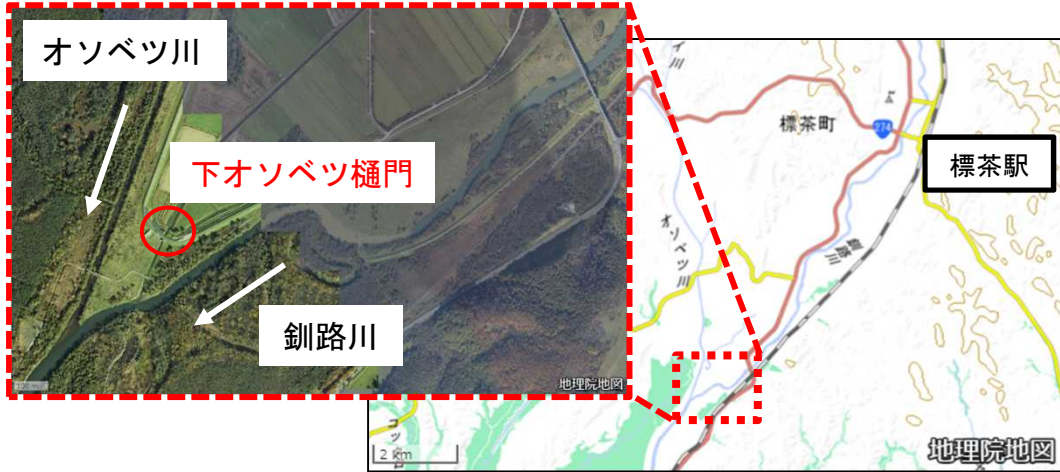
活動の様子

## (釧路開発建設部の取組事例)

洪水による内水氾濫を想定して、災害協定業者が排水ポンプ車を用いた排水及び照明車による投光訓練を行い、災害発生時における一連作業の確認を行いました。

実施日：令和6年6月27日(木)

実施場所：釧路川 KP37.6 下オソベツ樋門



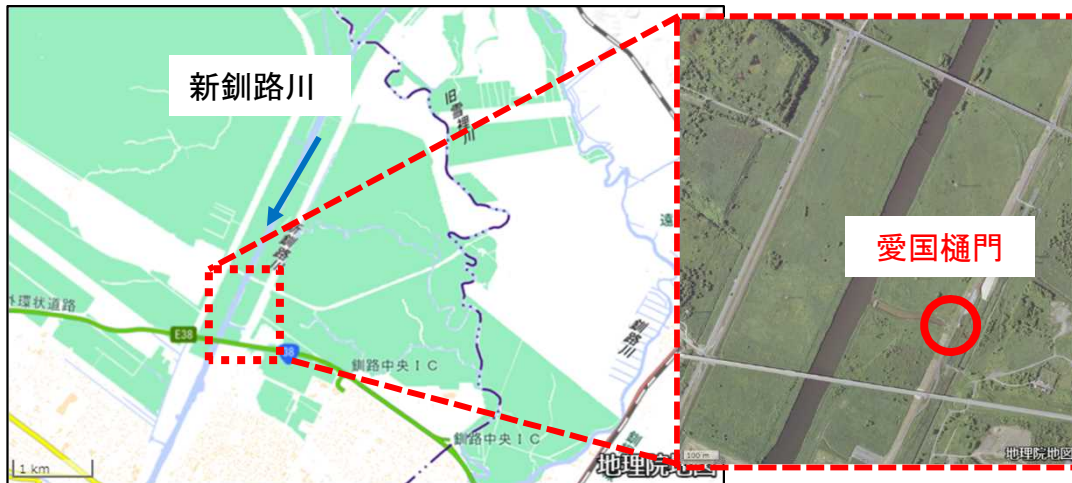
照明車の  
投光訓練



ポンプによる  
排水訓練

実施日：令和6年7月24日(水)

実施場所：新釧路川 KP4.5左岸 愛国樋門



排水ホース  
の布設



排水ポンプ  
の設置



排水ホース  
の布設

## (釧路開発建設部の取組事例)

### ◆巡視内容

釧路川・新釧路川における重要水防箇所や水防拠点に関係機関と合同で巡視を行った他、危機管理型水位計や簡易河川監視カメラの説明を行い水防災に関する情報共有を行いました。

### ◆巡視概要

実施日：令和6年7月4日

実施場所：釧路地区、標茶地区、弟子屈地区

釧路地区合同巡視



標茶地区合同巡視



弟子屈地区合同巡視



今年度もお忙しい中ご参加いただきありがとうございました。  
令和7年度も引き続き実施いたしますので、ご参加をお願いいたします。

## (釧路開発建設部の取組事例)

◆釧路開発建設部では防災教育を積極的に支援しており、令和5年度は標茶小学校6年生を対象に自然災害から命を守るための防災学習として「マイ・タイムラインの作成」を実施しました。

◆児童のマイ・タイムライン作成にあたっては、釧路開発建設部、釧路地方気象台、標茶町役場が各々のノウハウを活かして作成作業をお手伝いしました。

〔実施日〕 令和6年11月22日(金)13時30分～15時05分

〔対象者〕 標茶町立標茶小学校(6年生)

〔支援者〕 釧路開発建設部、釧路地方気象台、標茶町役場

### 1時限目:河川防災学習(座学)

近年の水害や釧路川の概要、洪水時に発表される情報や想定される災害など、各機関より河川に関する防災学習を行いました。



### 2時限目:マイ・タイムライン作成(グループ学習)

洪水時に重要な情報の入手手段や避難するときの注意点などを勉強した後、とるべき行動を整理したマイ・タイムラインをグループで作成しました。



グループ学習  
の様子



作成した  
マイ・タイムライン  
の発表